

この絵本シリーズをおすすめします!

(五十音順 敬称略)



秋田喜代美 (あきた きよみ) 東京大学大学院教育学研究科教授 日本保育学会会長
主人公の心の動き、登場人物に会いあう心の温もりが、子どもたちの魂に届き、生きる知恵を与えてくれる絵本。それは子どもの背中をそっと押し、育ちの次の一歩へと人の倫を示す羅針盤となるでしょう。ひとりで、仲間と、先生と学級で、家族で、ぜひ読み味わっていただきたい。保幼小の時期をつなぐ架け橋となる、絵本の質の分かる人にすすみたいシリーズです。



泰羅雅登 (たいら まさと) 東京医科歯科大学大学院 認知神経生物学分野教授
読み聞かせは「心の脳」を育てます。「脳」の研究でわかったのは、読み聞かせは、「楽しい」、「怖い」と感じさせることで感情を生む「心の脳」を育てるということでした。脳は使うことではじめてうまく働くようになります。「心の脳」も同じです。「心の脳」が「うれしい」「いやだ」をしっかりと感じて、働くことができこそ、相手の気持ちを思いやり、自分の行動もしっかりする「心の成長」も育むのです。



柳田邦男 (やなぎだ くにお) ノンフィクション作家
幼少期に大切なのは、言葉やきめ細やかな感性や人間関係理解力の発達です。ケータイなどのメディアはそれを危うくしています。絵本の読み聞かせは、メディアに振り回されないで、子どもの心を発達させる素晴らしい力を発揮します。しかも、読み聞かせをする大人も、絵本の言葉や深い内容から生き方や子育てで何が大事なことに気づいてやさしくなり、子どもに安心感と信頼感をもたらすのです。この絵本シリーズは、そういう親子の心育にふさわしい作品をそろえたものといえるでしょう。

絵本がもっと 好きになる!



全巻に読み聞かせのコツや
子育てのヒントになる
エッセイなどが掲載された
リーフレット「ココロのまど」が
ついてきます

<連載 執筆者紹介>



「ココロをそだてる読み聞かせのコツ」景山聖子
(社) JAPAN 絵本よみかせ協会 代表理事
<http://www.japan-ehon-yomikkase.com>
元・局アナ。ナレーション、朗読などの番組を担当後、絵本の世界へ。NHK カルチャー青山教室ほか、全国で絵本の読み聞かせ講座を開講。一児の母。心理カウンセラー、NLP マスタープラクティショナー。著書に「子どもが夢中になる絵本の読み聞かせ方」(廣済堂出版)がある。<http://kageyama-seiko.com>



「子どものココロの育つ場所」横山利弘
日本道徳教育学会名誉会長
名城大学教授、文部省初等中等教育局中学校課・高等学校課教科調査官、高知大学教授、関西学院大学教授を歴任。「道徳教育とは何だろうか」(廣済堂あかつき)等、著書多数。全国各地の研究会などにおける「ココロの教育」についてのユーマあふれる講話は人気が高く、多くの現場の先生方や教育関係者から絶大な信頼を得ている。



●ほかに、テーマに合わせて絵本を紹介する「こんなとき・こんなえほん」、保育や学校現場の先生方のリレーエッセイ「子どもの風景～絵本で育つ12のこころ」など、盛りだくさん! 多彩な内容でお送りします。

- 各定価: 本体 1,600 円+税
- シリーズセット価格: 19,200 円+税

●お問い合わせ
廣済堂あかつき株式会社
〒176-0021 東京都練馬区貫井4-1-11
TEL:03-3577-8965 FAX:03-3825-9187
<http://www.kosaidoakatsuki.jp/ehon/>
★お求めは、お近くの書店、販売店まで。

取扱店

すこやかな心を はぐくむ絵本



シリーズ 全12巻

今、育てたい12の心。
子どもに寄り添い、
大人には気づきを与える絵本が
“よりよく生きる力”を
はぐくみます。



作者からのメッセージ

いっしょに読もう いっしょに話そう



くすのきしげのり

児童文学作家

本シリーズ全巻のお話を担当

photo by Takako Asahara

子どもたちは、絵本が大好きです。どうか大人である皆さんも、お子さんといっしょに読みながら、いっしょに話しながら、絵本の世界を、そしてお子さんと過ごすすてきな時間を存分に楽しんで下さい。そうすることによって、楽しく幸せな記憶を糧として、子どもたちは作品世界や登場人物の心の動きに共感し、自ら深く考え、心豊かに成長していくことでしょう。

1961年、徳島県生まれ。小学校教諭、徳島県鳴門市立図書館副館長を経て、現在は児童文学を中心とする創作活動と講演活動を続けている。絵本『おこだでませんように』『メガネをかけたら』(ともに小学館)が青少年読書感想文全国コンクール課題図書に選出される。ほかに『ええところ』(学研教育出版)『あ・そ・ぼ・やで!』(くもん出版)など。海外でも注目され、翻訳出版された作品も多数。http://www.kusunokishigenori.jp

シリーズ 作品紹介

本体価格:各1,600円+税

全国学校図書館協議会選定☆
日本図書館協会選定*
日本子どもの本研究会選定◇

勇気をもってふみだす心 ☆*◇



絵: 狩野富貴子

『モモンガくんとおともだち』

いつも高い木の上から、お友だちが遊んでいるのをみているだけのモモンガくん。「あそぼうって、こえをかけてごらん」と言われても、最初の一步がふみだせません……。引っ込み思案な子どもの背中をそっとおす両親の励ましと、友だちの優しさを温かく描いた絵本。

思いやる心 ☆◇



絵: いしいつとむ

『うれしいやくそく』

せつかくの遠足なのに、足をけがして行けなくなったキツネくん。みんなが楽しく過ごしているかと思うと、さびしくてたまりません。そのころ、お友だちは……。すなおな思いやりと自然の中で存分に遊ぶ楽しさを、やさしくにじむようなタッチで描いた絵本。

楽しく働く心 ☆*◇



絵: 澤野秋文

『たなからぼたもち』

江戸の町で評判の菓子屋さんの跡取り息子・あまたらう。あんまりのんびりやのなまけものなので、とうとう、父親に叱られてしまいます。その時、あまたらうが……。よく知られたことわざから生まれたゆかいな物語。牡丹餅つくりの様子や仕事の丁寧さ、作り手の詩りをユニークに描き出す絵本。

責任をもってやりとげる心 ☆◇



絵: あおきひろえ

『みずやりとうばん』

学校で育てている野菜畑の水やり当番を忘れて帰って来てしまったなつみちゃん。1日くらい大丈夫、それともやっぱり戻ろうかと迷っていると、おじいちゃんが……。どんな子どもにも経験がある、心の揺れに寄り添って、やさしく見守ります。孫娘とおじいちゃんとのやり取りが楽しい絵本。

たすけあう心 ☆◇



絵: 市居みか

『できることおてつだい』
運動会の前日、先生が「てつだってくれるかしら？」と声をかけると、子どもたちはみんな「まかせて!」とこたえます……。それぞれが自分の得意なこと、できることを率先してやると、なんて多くのことができるのでしょうか。認め合い、協力し合う動物たちの姿をゆがいに描いた絵本。

わかちあう心 ☆◇



絵: 武田美穂

『いっしょにどうぞ』
ふたりが同時におなじ絵本を読みたくなくてとりあううちに、とうとうケンカになってしまいました。それを見ていた先生は……。ゆずりたくない互いの思いをどのようにうけとめるか。親しみやすいイラストが、心にストレートに語りかける絵本。

友だちを信じる心 ☆*◇



絵: 重森千佳

『たからものみつけた!』
お父さんのお誕生日のプレゼントにと、木の実を穴に集めておいたりスくん。でも、目印が飛んでいって、どこにあるかわからなくなってしまいました……。ほんとうにだいじな「たからもの」って何だろう? 細やかに描かれる森の様子や表情豊かな動物たちの姿が楽しい絵本。

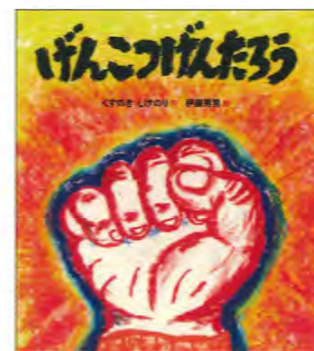
正直な心 ☆*◇



絵: 長野ヒデ子

『しょうじき50円ぶん』
お兄ちゃんとたこ焼きを買って帰ってみると、おつりが50円多かった。正直に言って、たこ焼き屋のおじさんに返すか、それとも、知らん顔してもらっておくか。さて、どうする? 町の大人との関わりが、兄弟の心の成長を後押しする、さわやかな物語。人情味あふれる読後感がうれしい絵本。

自分を見つめる心 ☆*◇



絵: 伊藤秀男

『げんこつげんたろう』

げんげんげんこつ げんたろう
つらいときには げんたろう
くやしいときにも げんたろう…。表情豊かに描かれる、子どもたちの様子や大人の姿。言葉にならないそれぞれの気持ちを推しはかり、理解しようという態度を育む絵本。

すがすがしい心 ☆*◇



絵: たしろちさと

『どんないちにち』
だれが いちばんに いうのかな。「おはよう」って いうのかな。おはようが つながっていくよ。まちじゅうに ひろがっているよ。さわやかな朝の情景にフォーカスしながら、繰り広げられる町の暮らし。人々の営みが細やかに、いとおしく描かれた絵本。

ものを大切にする心 ☆◇



絵: さこももみ

『くつあらいましょう』
おきにのりくつにとうとう穴があいてしまいました。ゴミに出そうとすると、おばあちゃんが「このくつ、あらってあげようよ」といいます。もう、すてしまうのに、どうして? くつを洗うことで、毎日を思いかえず女の子。さりげないおばあちゃんの態度が大切なことを教えてくれる絵本。

いのちの尊さをかんじる心 ☆◇



絵: 片山健

『あったかいな』
飼っているねこの出産を心待ちにする女の子。毎日様子を見にくる友だちと一緒に、いろいろと世話を焼こうとします。そして、とうとう子ねこが誕生して……。いのちの輝きとそのつながりを、子ども心に寄りそって語りかけます。いのちの実感を伝える生命感あふれる絵本。